

ぼんづなを
引いて歩いた
月明かり



友部小5年(当時)
三輪 朋輝

(平成30年度笠間市文化協会
「子ども俳句大会」入選作品)

支部だより ひがし

第153号

発行日 令和元年9月19日
発行 笠間市社協東支部
編集 広報委員会
印刷 有限会社 テクノプラン



汗ダクダクのやぐら作り



盆踊り大会ピーク

五平地区盆踊り大会
8月3日、第40回五平地区盆踊り大会がミニストップ駐車場にて、約200名が参加して行われた。山口市長も祭りハッピーになり、かわいい子供達に交じって輪になっていた。



子ども会の作品展



子ども会のみこし

南友部 子供みこし祭り
8月3日、子供43名が参加して、香取神社で安全祈願、神事が行われた後、子供みこしが出発した。夜には天空に花咲く花火大会が開催された。

高房神社の祇園祭
7月27、28日に夏祭りが行われた。出社の御祈祷(宮出し)の後、鳥居まで7往復し、御飯屋(集落センター)に3基の神輿が揃います。夕方に太鼓の音と共に地区を巡回し、翌日は23名の子供達の一部を担ぎ、実行委員会の皆さんが準備してくれた、出店の味を楽しみました。



西飯田子ども会の盆綱

子ども会の盆綱
8月13日、14日に五平子ども会、13日に西飯田子ども会の盆綱が行われた。盆綱は五平地区のお盆の行事として行われていたもので、100年以上の歴史があります。西飯田地区ではその盆綱を綱分けしてもらい、今の盆綱が始まりました。



子ども会のみこし



高房神社の祇園祭

◆6月3日、地域福祉センターともべにて警察署による立哨、防犯活動講習会を開催。
◆6月11日に開催予定の第30回クローカー大会は、天候不良のため中止。



火おこしにチャレンジ

三世代のつどい「昔遊び」
柿橋子ども会
柿橋子ども会では6月29日、柿橋公民館で三世代のつどい「昔遊び」を開いた。「昔あそび」はお爺ちゃん、お婆ちゃん、の時代に流行ったもので、カルタ・お手玉・折り紙・火おこし・福笑いなどである。火おこしは大の大人でも着火が難しく、子供は色々な遊びにチャレンジしていた。

柿橋ミニサロン
女性部副部長 櫻井 令子
6月27日、柿橋ブロックのミニサロンは42名の参加を得て、大洗方面へ行ってきました。大洗町健康福祉センターゆつくら健康館では、当日「ふろの日」で入浴料500円。おいしい昼食をいただいた後、めんたいパーク大洗、大洗イエローポートでお土産を買って帰路に着きました。

◆6月16日、地域福祉センターともべにて支部役員と子ども会との交流懇談会を開催。

センター内は単にモノが置いてあるだけでなく、人が動き、モノが流れ、まさに物流そのものである。印象に残ったのは小型無人搬送ロボット「Racrow」である。例えるなら、自走掃除ロボットのの上に収納庫を乗せているようである。モノタロウが竣工したことで朝夕の車の渋滞はあるが、地元雇用の確保に貢献している。

モノタロウ見学
広報委員会では4月26日に(株)モノタロウディスプレイビューションセンターを見学した。モノタロウは2017年2月に笠間市平町に竣工した物流センターで、家庭用品から工業製品まで幅広く取り扱っている。センターの延床面積は約5万6200平方メートル、従業員は約500人である。センター内は単にモノが置いてあるだけでなく、人が動き、モノが流れ、まさに物流そのものである。印象に残ったのは小型無人搬送ロボット「Racrow」である。例えるなら、自走掃除ロボットのの上に収納庫を乗せているようである。モノタロウが竣工したことで朝夕の車の渋滞はあるが、地元雇用の確保に貢献している。



ゆつくら健康館にて



アジアにおけるカレーとラーメン

西飯田 西村 美彦



ベトナムの仲間と乾杯（中央が本人）

仕事柄海外に出かけることが多く、現在はベトナムに携

わっている。長期ではインド、インドネシアにも赴任していたが、現地では書物や聞いたことのあることが現実化する。海外でやっていることは農業技術協力であることから、どうしても現地に行くと「農

介護施設「すみれ」とイトウ製菓を見学

女性部研修

女性部では6月19日に介護老人保健施設「すみれ」と、イトウ製菓を見学した。「すみれ」は旧笠間にあり、要介護高齢者にリハビリ等を提供し、在宅復帰を目指す施設である。施設内には50メートルの長い通路があり、10メートルごとに距離表示が掲げられ、リハビリしながらウォークラリーを楽しむことができる。

イトウ製菓は小美玉市の国道6号線沿いに第一工場、

がっかりしたことがある。なぜだろうかと考えた次第。そこで思い出したのが、インド文化圏と中国文化圏の違いであろうと。インド文明はボルボドールのあるインドネシア・ジャワ島まで至っており、また東はアンコールワットがあるカンボジア（クメール）まで至っている。しかし、ベトナムまでは至っていないことが不思議になる。そのためインド食文化を代表するカレーは、ベトナムでは味わっていないことが不思議になる。これが残っているというカレーは口に合わないということなのだろうか。このことから古代文化の広がりを感じ（舌で）感じる。この経験でベトナムにも両方を持つて行ったところ、カレーは全くの不人気である。

少し離れて第二工場があり、第二工場を見学した。両工場ですべて2000人の従業員がおり、クッキーとビスケットを作っている。両者はよく似ており、アメリカではクッキー、ヨーロッパではビスケットと呼ばれる。国内では柔らかい菓子をクッキー、少し硬い菓子をビスケットと呼ばれる。

多少暑い一日であったが、有意義な研修が実施できた。



介護老人保健施設「すみれ」にて

タカノフーズの納豆工場見学

南友部ミニサロン

女性部副部長 深谷 智子

6月9日に南友部ブロックのミニサロンは、33名の参加者で開催されました。当日の朝は、いきなりの雷雨で心配しましたが、出発と共に小雨になり、皆様の行いの良い事に感謝いたしました。

一行が最初に見学に向かったのは、小美玉市タカノフーズ（株）の納豆工場です。ガイドさんの軽快なトークとビデオ上映で納豆の栄養価のすばらしさを学びました。様々な種類の納豆を試食し、おみやげ品も頂きました。売店で買物もでき、皆さん楽しそうなお天気でした。

次は大洗オーシャンビューホテルにてランチを頂きました。沢山の種類のおかずを少しづつ頂き、ゆっくりとランチを堪能しました。ホテル内ロビーにて記念撮影をして、那珂湊お魚センターヤマサ水産へ。入口横の駐車場を提供して下さい、雨に濡れることなく新鮮なお魚を買物でき、満足そうな皆様のお顔を見て安心しました。地域の方々には、このような機会をどんどん利用して頂き、交流を楽しんでもらいたいと感じました。

11月には南友部ブロック

対話と食事会

五平ブロック

6月30日に五平ブロックの対話と食事を五平公民館で行いました。出し物は地域包括支援センターの小田部さん他2名の方に来て頂き、認知症の話、指の体操、落語と盛り沢山でした。



皆さんと一緒に指体操

対話と食事会

宮前・鴻巣ブロック

女性部主催の対話と食事を5月25日、鴻巣集落センターで開催しました。食事後、頭の体操・紙芝居やオカリナ演奏に合わせて歌うなど、楽しいひと時を過ごしました。



紙芝居「ぐうたらやじべえ」

の対話と食事が行われます。また皆様の笑顔にお会いできるのを楽しみにしております。



大洗オーシャンビューホテルにて

編集あとがき

本紙表面左上に掲載されている俳句は友部小学校の生徒の作品で、俳句は生活の中から生まれるものです。子供会のお子さんからの投稿をお待ちしています。連絡先は内田（77・8469）まで。

今年度の広報委員は、南友部ブロック 深谷チヨ子 柿橋ブロック 穴戸正夫 宮前・鴻巣ブロック

五平ブロック 内桶道子 皆川 勇 斎藤義範 鈴木龍子

昨年度4名が退会され、南友部、柿橋ブロックの広報委員の補充が必要です。自薦・他薦による会員皆様のご協力をお願いいたします。

内田 利一